

刊夕 日十月五



定価 一紙五錢 一月一元五角 三月四元 半年八元 一年十五元
 電話 五二二 印刷部 五三三 編輯部 五三三
 發行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇 印刷部 六三〇 編輯部 六三〇

なくて七癖考

半 羊

歐洲人には珍らしい痘痕の持主それも至極念入のものであつた文豪ゴッルドフミスは、何時も美々しく扮飾するので、ダブリン大學にゐた頃同級生から擲擲され通じたつたので、折角の法律も醫學も皆中途で罷めねばならなかつた。生活の爲め白耳義、和蘭、獨逸、伊太利の諸國を流浪し、遂に佛國に着いたが此の國では彼れが吹笛で門付するのが結局同情の種と成り、小錢を溜め久振りに郷里の土を踏んで苦しまぎれに書いたザ非カア。オブ。ウエーキフイールドが當つて、その頃他に比類なき一出版と云ふ賣行であつた、此の次引續き發行したのがデザイテッド。ガイツレツジでこれ亦一層の聲價を掲げ漸く懷中も温まつたに持つて生れたお洒落が身を害し落魄してしまつた。

英國の抒情詩人として第一位に置かれたパーシー・シニョーは、旅籠屋の娘と墮落して牛津大學から放逐され、各地放浪の末遂に海に飛び込んで自殺し、死體は濱邊で焼き棄て、遺言で心臓だけは取り取り羅馬に埋めた、赤食洗ふが如き状態であり乍ら、若し何かで少額でも入金すれば直ぐに誰にでも之れを撒き散らすので、友人間や婦人連からは相當な評判を受けてゐた、此の人が一生を通じて此の上も無い娛樂としてゐたのは池でも沼でも水溜りさへ見付ければ玩具の小舟を浮べて遊ぶことであつた。英國チャールズ二世はセント・ゼームス宮殿の御誕生であるが聖齡九歳で腕を挫折された、此の悲惨なる御境遇には臣下からも種々御慰安を申し上げたが、御娛しむとしては禁苑の家鴨に餌を與へらるゝの可愛らしい御趣も陛下の御名をつけられて呼ばれるの他はなかつた。

十七世紀の終から十八世紀へかけ英國で名高つた心理學者サムエル・クラークは餘り永く考へ込んで頭腦が疲れた時は、矢鱈に机の椅子だのを飛び越え氣を散らしてゐたが、往々修理不可能の程度まで破損することもあつた。佛國の碩學デオニシウス・ピタゴラスは勉強に凝り過ぎると、自分の坐つてゐる椅子を二時間毎に五分間位宛獨樂のやうにくるくると廻して心氣を一變した。宗教家政治家外交家それ元帥でもある佛國の元老リッパリニ大僧正は子供を集めて繩飛の遊戯に餘念なかつた。嚴格で名の通つた英外相オリヴァ・クロムウェルも亦侍臣や近所の娘たちの仲間入りをして鬼ごつこをしてその間は何事も忘るることにした。

丁抹のデコ・ブラエは十六世紀の末頃に居た天文学者で齡十三にしてコペンハーゲンに這入つた神道であつたが、生前の道樂は望遠鏡のレンズを精出し磨く位であつた。佛國皇帝ルイ十六世は數學並に機械には天才を持たれてゐたその頃朝廷には腐敗した官吏が横行してゐたに拘はらず陛下は精勵愛民一國の主たる資格を維持され隨つて御慰安として別に無かつたが強いて申上ぐれば御手づから錠前の修繕をなさるゝことであつた。

五月の新舞子

文 朗 作

曠きい碧い碧い空
 雲は何處にも見ない
 水鳥は小さく大きく
 緑色のカンバスよ
 一つ二つ輪を描く
 思ひ切つたデザイン
 乙女の心臓の様に
 五月の水は
 陽をうけて
 ギンギラ
 ゆれてゐる
 五月のかほりは
 沈澱した感情を昇天させ

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお勧め致します

平田町九六
 喜多流 仕舞 白土會
 電話一二七番
 詳細は本會へ御問合せ下さい

外科 X光線科
 性病科
 科
 意隨院入

安齊外科醫院
 電話四七五番

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四。電六〇六番

漆器の御用は皆様の
 丸共へ御用命下さい……
 卸賣特に御務め勉強致します。

共榮漆器店
 平町三丁目北裏通
 景品賞品類
 進物贈答品
 恩賜賞與品
 記念表彰品
 各國産漆器
 店員募集
 本年尋卒 仕着 小使月三圓
 同高小卒 仕着 小使月五圓
 外交員十八九才より三十才迄

外科 全科
 小兒科
 内科
 醫學博士 渡部義夫
 女 醫 渡部きい子
 平町田町大通り(電話二七七番)
 渡部外科
 入院應需

新型洋品豊富

カツター……………85
 アンダー……………30
 中折帽……………95
 ベレー帽……………25
 ネクタイ……………30
 靴……………10
 靴……………65
 靴……………20
 靴……………20
 靴……………50
 靴……………1.25

運動にはクロネコのランパンツ

平町二丁目(電話六〇五番)
 山家メリヤス店

34年型新車購入

快ろよい微風が頬をかすめて
 吹く……野邊に、海邊に
 アナタのリーベとの遠乗り
 散策に御私用に是非御愛
 乗下さい。
 セリザワのニュー・カーを!

平。三 芹澤タクシー
 電 3 9 5

一萬米を

躍ッ起と走る

けふ平商の創立記念日

既報平商業學校では本日の創立記念日に當り校長の講話あつて後同校と神谷村立紳社間往復一萬米マラソンを行つたが入賞者は左の如く一着は澤田君のタイムは三十九分十二秒五分の一と言ふ好記録を示した由

1 五ノ乙澤田良彦 2 四
甲阿久津勳 3 同小林正
男 4 同岩佐正治 5 二
甲木村勝美 6 三甲志賀
清 7 二甲松木和夫 8
二乙古市勝美 9 同西山
正之 10 四甲鈴木次良

學童の貯金

最近傾に増加

平町各小學校では各家庭に對し兒童の學校貯金を奨勵してきたが各家庭でも、數年來の不況の辛酸に鑑みて大いに覺醒貯金の必要を痛感してきたらしく各兒童の貯金思想は頓に普及向上し去る三月末即ち昭和八年度末の三校の貯金總額は三萬六千三百六十七圓四十九錢、人員總數三千三百四十八人、全兒童の約八割近くに達し一人平均の貯金額は十一圓十九錢となつてゐる、三校別左の如く第一校は最も人員多くこれに反して第二校は金額に於て最高である

公民學校 出席督勵

平商業學校内に於る實業公民學校は昭和五年開設以來着々成績を收めつゝあるが此の程開校以來の出席統計を調査したところ五年度八一八九% 六年度八七九三% 七年度七五二〇% 八年度七五二一%で最近二ヶ

未恐ろしい

チーム出現
法律の豪の者
理屈を手に
平區才判所オールド連中はヤング組より刺戟されたか此程チームを編成して堂々と左のメンバーを定め

年間が初期に比較して不成績なのに驚き今年度は是非共良成績を挙げねばならぬと嚴重出席督勵をすることになつた

土木委員協議 平町では来る十二日午前十時から土木委員會を開き溝渠敷

春蠶の掃立

倒年よりも遅る

石城地方の春蠶掃立は例年に比し三月半頃迄氣候が低温であつた爲め例年より五日遅れ来る十三日より十五日頃となり最盛期は十五日頃と豫想されて居るが今後天候が順調に行けば繭の收穫は例年と大差なく見られるであらうと

本邦で稀らしい

キヤベツの四季收穫

農試が試験栽培

本邦に於ける春蒔キヤベツは従來七月から八月にかけて收穫されたが折柄の暑氣のため仲々貯蔵が困難で此の点農家の頭痛の種であつたが、農試が試験栽培の結果、四月から八月下旬の間に收穫することが出来た。四月から八月下旬の間に收穫することが出来た。

地使用願に關する件、公園脚踏園警備に關する件を附議する

水産會總會 石城水産會では明十一日午前十時より平町團體事務所樓上に於いて總會を開き豫算並に役員の変更等を行ふ

四倉野球爭覇 四倉町鶏鳴會主催町内六組對抗優勝旗爭奪野球戦は来る十三日午前九時より小學校庭に催されるが昨年の優勝のOB俱樂部と最近著しく上達したセメント軍との爭覇戦が期待されて居ると

五月——九月上旬
六月——十一月
といふ本邦では珍らしい栽培法を考案、これによつて從來の悩みを一掃すべく

早速實地 に試験栽培を行ふことになり目下五月の播種を終り二月播種の結實期にあるが六月播種のものには十一月の寒期に收穫され春までの貯蔵も容易なのでこの試験栽培は俄然各方面より 注目目的となつた

野小學校に於いて催される
入遠野に
養兔組合

入遠野村農會では昨日同村役場に於いて養兔組合創立發會式を舉行、組合規約を制定、役員を選挙した結果左の如く決定した、今後同組合では種兔の共同購入、成兔の共同販賣先進地の視察等を行つて養兔による農村自力更生を圖らうと意氣込んでゐる

北部校長會 石城郡北部聯合教育會の校長會は本月十六日午前九時から草

兒童一人の負擔は

十九圓七錢に當る

平町の小學校兒童は年々増加する一方で校舍は狹隘を告げて居るが四月現在の調査による兒童數は

(第一校)二十四學級 一千四百六十八人(第二校)二十五學級 一千四百六十八人(第三校)二十學級 一千四百六十八人 内女子學級 五百七十六人

これを同町の全戸數に割當ると一戸平均十六圓三十二錢で正に同町戸數割賦に匹敵するまた兒童一人平均が十九圓七錢、一學級に要する費用一千四百四十七圓であるといふ

常設館だより

□平館 日活現代劇、瀧口新太郎、深水藤子主演
『戀知る頃』大都會時代劇
阿部九州男、春水麗子主演
『仁義一本刀』日活時代劇、大河内傳次郎、山田五十鈴、伊達里子主演
『女人曼陀羅』第二篇
□世界館 新興時代劇 鈴木

木澄子、由利健次主演
『俠艶録』松竹時代劇、林長二郎、飯塚敏子、尾上榮五郎主演
『刺青判官』阪妻プロ時代劇、阪東妻三郎、森静子主演
『燃える富士』

第八期決算報告
株式百澤商店
資産ノ部

金銀勘定	八八四一
當座預金	九一五四一
振替貯金	二七、〇〇〇
商品勘定	三、三〇、〇〇〇
得意先勘定	一八、八〇、〇〇〇
諸貸付金勘定	二、三〇、〇〇〇
委託商品	一、一〇、〇〇〇
有價證券	四、〇〇、〇〇〇
保拂金	九〇、〇〇〇
假拂金	一、〇〇、〇〇〇
未拂込資本	二、〇〇、〇〇〇
什器	一、〇〇、〇〇〇
土地建物	五、〇〇、〇〇〇
借入金	一、〇〇、〇〇〇
機械器具	一、〇〇、〇〇〇
建費	一、〇〇、〇〇〇
当期損失	一、〇〇、〇〇〇
合計	一、〇〇、〇〇〇

負債ノ部
仕入先 一、〇〇、〇〇〇
委託主勘定 一、〇〇、〇〇〇
借入金 一、〇〇、〇〇〇
預り保証金 一、〇〇、〇〇〇
店員預金 一、〇〇、〇〇〇
資本 一、〇〇、〇〇〇
法定積立金 一、〇〇、〇〇〇
諸積立金 一、〇〇、〇〇〇
合計 一、〇〇、〇〇〇

右之通り候也
昭和九年五月
取締役社長
百澤 易興

新天地開發

滿洲行の移民

平町も適任者選定中

第三次滿洲特別農業移民として本縣より三十名を選出する事になったので目下平町では縣よりの指令により在郷軍人分會と協力して左記資格を有する適任者を選定中である

イ、現在自ら農耕に従事し居る既教育在郷軍人中
身体強健、思想堅實、困苦缺乏に堪へ得る者
ロ、酒を嗜まざるもの及
惡癖其ノ他前科犯なき者
ハ、在隊間及在郷間の成績良好なる者
ニ、妻帯者を主とし成る可く家庭上緊累少なきもの但し獨身者も妨げず
ホ、年齢三十五才以下の者、その他

郡醫師會

役員改選決定

石城郡醫師會は去る八日午後一時から常磐銀行樓上に開催豫算決算を附議して後役員改選を行ひ左の如く決定した

(會長) 酒井國三郎 (副會長) 根本莊次郎、清水廣政、理事 星恒明、松村鐵郎、木村淳、新妻幸之助 (代議員) 酒井國三郎、大森勇、藤沼平次郎、清水廣政

眠氣覺しに

元氣な体操

授業の疲勞を回復する爲め

平第二校がけふから始めた

平第二小學校では最近氣候が温くなるに連れ毎日授業三時間目頃から生徒が疲勞して倦怠の色を呈し中には居寝りを始める者等もあるので本日より全學年毎に卅

かれる保護總會には同校生徒が唱歌會を催す爲め本日より出演者を選定して豫習を始めた

扁桃腺に

悩む生徒

平第三校に 百五十八人

平第三小學校では此程全兒童の健康診断を行つたところ扁桃腺肥大が意外に多數を占め殆んど一學年八人平均で多きは一級十五人に及び合計百五十八人あつた其の他にはトナホムが

勞銀で團服を調製

平窪村で總會當日お揃に

平窪村青年團では團員が農閑季を利用して夏井川改修工事に出役した勞銀を以て團服を調製する事になつたが來月下旬の總會には全團員が新調の製服を着用して出席すると

現地講習

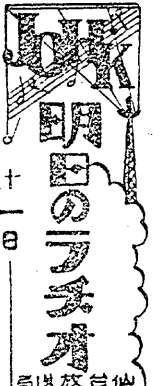
中堅農民に

石城郡農會では明十一日植田、錦の二ヶ所で中堅農民の現地講習を行ふと

保護者會

決算と豫算

平町小學校保護者會では此程理事會を開き豫算決算を付議役員を改選した結果會長井上貞治郎氏、副會長大嶺庫の兩氏再選重任した尙は三校の昭和八年度決算總



今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
お話し「遠東還付詔勅換海四十週年を迎へて」吳發軍軍需部長 海軍少將名古屋十郎
後七、三〇 「講演瀬戸内海の成立」廣島高師教授

下村産一
後八、〇〇 ビアノヴァイ
オリオン三重奏
後九、〇〇 舞臺劇(歌舞伎座より中継)「四千兩小判梅葉」尾上菊五郎他
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告

綴驛前の

書火事

内郷村字綴驛前旅館常陸館事近納義方風呂場より昨九日午後三時半頃發火したて附近のものが發見協力して消止天井裏板三坪を焼いて鎮火原因は煙突の不始末からであると

第一口腔検査

平第一小學校では本日佐藤、遠藤兩齒科醫を招き全校生徒の口腔検査を行つた

四倉築港會計

横領事件公判

長係り野木檢事立會のもとに平支部に於いて第一回公判が開かれる

酌婦が

ネコ自殺

苦悶中を發見
好問村字町料理屋吉野屋方酌婦佐竹きよの(八)は九

判事 三宅正太郎
後三、三〇 六角力夏場所
實況(初)日兩國技館
より中継
後六、〇〇 (子供の時間)
お話し「人體めぐり」佐藤重一
後六、二五 基礎佛語講座
(十)丸山順太郎
後七、三〇 講演「三浦安針」文學博士 幸田成友
後八、〇〇 浪花節「紀の國屋文左工門」梅中軒鶯童
後八、四五 ラヂオドラマ
友田恭助大勢

高卒
△印刷工 二十七才 高卒
△農夫 三十七才 高卒
△事務員 四十六才 高等
蠶糸校卒
△土工夫 二十七才 高卒

平區送致件數 平區裁判所檢事局去月の中の管内警察署送致件數を見ると計百九件のうち平署は六十九件を占め其他植田は十四件浪江十二件、四倉七件、富岡六件、小野新町一件等桁違ひであると

平職案紹介所報告
回人を求める方
△理髪女工 十五才一十八才位一尋卒 仕着小遣
△農夫 四十才以下 年七
十圓一二十圓迄
△湯屋水汲 四五十才位
月五、六圓
△女中 十五才一二十才
尋卒以上 月四圓位
△炊事婦 四十一五十才
月五六圓
回職を求める方
△事務員見習 二十一才
高卒
△自動車修繕工 二十四才

耳鼻咽喉科 大和田醫院

平町南一丁目七番六

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

浮名のかつら

(祭禮上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(筆)

二八

分らぬ男だな
足でつけたに違ひない、
足でつけた鞠が頭に落れば
即ち足にされたも同様で
あるから武士の意地で勘辨
ならん、其方のやうな者が
五疋七疋参らうとも用は辨
じない、立歸つて庄右衛門
を遣はせ、其方の知つた事
ではな

「イエ全く私に手にはづま
してをりましたので、庄右
衛門の知つた事ではござい
せん」
「エー五月蠅面倒な」
突然傳八郎が持つて居た
煙管で、常平の眉間を打つ
た

「アツ」
と云ふ内に左の小鬢の處
へ煙管の雁首を打込まれま
したからガラ／＼と血が
流れたのを、左の手で押へ
て

「誠に恐れ入りました、何
卒是にて御勘辨を願ひます
……」
「コレ是にてとは何だ、イ
ヤサ是にてとは何だ、其方
の頭などは南瓜同様のもの
だ、幾個打つたとて構はん
其方では用が辨じないによ
つて主人を呼んで来い、グ
ズ／＼して居ると頭を打落
すぞ、庄右衛門を呼んで来

「ヘエ、夫では御暇をいた
します……大きに三平さ
ん有難う存じます、又考へ
て上る事にいたします」
常平己の部屋へ戻つて来
てビイドロ鏡を取出して、



自分の顔を見ると疵が出来
て居る疵は大きくはないが
潮時と見へて大分血が流れ
て居るから、拭つて油薬を
付けて木綿でギリ／＼縛つ
て両手を組んで考へて居た
が

「我も世が世なれば兵庫守
の家来、向ふも高の知れた
る素陪臣……汝の様な者
が五疋六疋来たつて役には
立たん、乃公の頭はカボチ
同様と斯く面部へ疵を付け
られた以上はこの儘では居
られない」
と思案を定めて常平は、
庄太郎へ宛て一伍一什を
書残し、自分の部屋へ張付
けて置いて、阿父さんから
貰つた貞宗の一刀を腰へ帶
して他所ながら主人の家へ
暇乞ひをして隣屋敷彦坂傳

とあけて
「オイ常平邪魔の處に居る
ぢやアねえか」
「頼まうと云つたのは拙者
だ」
「何でえ大きな事を云つて
来やアがつて、和郎のした
事ぢやアねえから、庄右衛
門を遣しねえな」
「イヤ拙者のした事だ、主
人は知らん事だよつて、
何處までも拙者が負擔る」
「そんな生意氣なことをい
つて来ちやア、あんな怒つ
てゐる旦那を尙怒らせるや
うなもんだ、早く和郎とこ
の主人をよこしねえ」
「イヤ鞠の一件に就て、隣
家庄右衛門を永の暇になつ
たに依つて、最早以前の常
平ではない、寺澤兵庫守家
來塚本伊織の一子塚本伊太
郎として傳八郎に面接をし
やう、案内を爲る」
「三平」
「ヘイ」
「聞いた、其の伊太郎と云
ふ者を通せ」
「常平詰らねえぢやアねえ
か燃てる火へ油ア打掛ける
様なもんだ」

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は生命なり

木村外科科門

平町六丁目橋際 自炊入院の便あり
電話三九〇

お醤油は……ヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鰹節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部二階工場主)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 玄番彌一
平町新川町十九
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

評判で香りのよい

電熱ほうじ茶發賣

一號 一斤六〇 四半斤一五
二號 一斤四〇 四半斤一〇

大黒ばしらは家の王
お勝手道具は世帯王
大勝園で買った茶は
茶前のの玉よ客間玉
父様母様おすきの茶
客のほめる茶喜ぶ茶

大勝園

平三 電話三九六番